

公益財団法人 核物質管理センター  
第33回評議員会議事録

1. 開催日時 令和6年6月25日(火)  
14時00分～16時00分
2. 開催場所 東京都台東区東上野1丁目26番2号  
オーラム 「ギャラリーI」
3. 出席者(順不同)
  - 評議員 阿部 信泰、石塚 昶雄、草間 朋子、佐々木 康人、杉浦 紳之、  
藤井 靖彦、松井 一秋  
【評議員現在数7名、出席評議員7名】
  - 監 事 高本 学
  - 理 事 代表理事 理事長：下村 和生  
業務執行理事 小林 功、阪口 誠
  - 事務局 総務課長：遠藤 雅伸 他
4. 議 長 評議員：杉浦 紳之
5. 議 題
  - 議 案(審議事項)  
第1号議案：令和5年度財務諸表等の承認
  - 報告事項  
令和5年度事業報告
6. 議事等の経過及び結果  
評議員会の開会に先立ち、定款第18条に基づく評議員会の議長の互選を行い、松井評議員から杉浦評議員を議長に推薦する旨の発言があり、出席評議員全員異議無く、杉浦評議員が議長に選出され、以降、杉浦議長により、議事が進行された。

審議に先立ち、本評議員会の成立について、事務局から評議員現在数7名に対し本評議員会は7名全員の出席があり、定款第19条第1項に規定する決議に必要な評議員の出席要件を満たすことが確認された。また事務局から、各配付資料について説明があるとともに、各資料が不足なく配付されていることを確認した。

次に、定款第22条の議事録署名人について、藤井評議員と松井評議員の2名を選出し、議案の審議に入った。

## 6.1 議 事

### 6. 1. 1

#### 報告事項

令和5年度の事業について、配付資料に基づき指定機関としての情報処理業務及び保障措置検査等業務、技術者養成として保障措置セミナー及び計量管理報告書等記載要領講習会等の実施、広報活動として茨城原子力協議会広報誌「かがやき」連載シリーズへのセンター紹介記事掲載、国際協力としてKINACとの技術会合等、について理事長から報告された。併せて試料分析の遅れ等、法人運営の懸念を含めて広く、理事長から事業に関する報告があった。

評議員からは、保障措置セミナー等の参加者数等に関する質問等があり、小林理事から、各セミナー等への参加者数について実施会場ごとの定員やトータルでの参加者数の回答があった。

また、評議員から（NMCCに尋ねる事項ではないかも知れないが）サイバーセキュリティに関して質問があり、理事長から、（知っている範囲では）内閣官房で実施されており、NMCCでの実施はない旨（NMCCが実施する事項ではない旨）が回答された。

### 6. 1. 2

#### 第1号議案 令和5年度財務諸表等の承認

事業の報告の後、令和5年度の収支決算状況、貸借対照表、正味財産増減計算書等の財務諸表等について、事務局から配付資料に基づき説明があった。令和5年度は収支の総括としては約157万円の赤字であり、公益財団法人としての財務3要件（1. 公益目的事業比率 2. 収支相償 3. 遊休財産の保有制限）について問題がないことが説明された。

審議の結果、出席評議員全員により当該財務諸表等が承認された。

## 7. その他

### 7. 1

阪口理事から東海センターでの試料分析の遅れについて説明があり、東海センターと六ヶ所センターでは分析試料の送付等の仕組みが異なるため、六ヶ所センターでは遅れは発生していない（六ヶ所センターではIAEAと同時期にタイムリーな実施である等）。一方、東海センターでは、各施設の都合で（A型輸送容器による）試料到着時期が遅くなること等、またNMCCでも分析実施者の属人化等があり円滑な対応が出来ていなかったこと等、の理由で遅れが発生した旨、説明があった。

現在は、東海センターと六ヶ所センターでの分析を相互に実施可能としたこと及び若手の育成等により遅れの解消を図っていることが説明された。

また、すでに対策としてQMSの活用及び六ヶ所センターからの支援により、効率的な試料分析を進めている旨説明された。

評議員からは試料分析の遅れに伴う各年度予算との整合性について質問があり、棚卸し検査のタイミング次第では年度を超える場合があるが、それ以上の年度を超えないよう注視していると阪口理事から説明があった。

また分析業務の専門家育成には時間を要する旨、評議員から意見があった。

その他、遅延対策後の試料分析の処理速度に関する質問があり、グローブボックスの2ライン使用によって2倍の速度になっている旨、阪口理事から回答があった。

### 7. 2

事務局より（評議員からの提案である）評議員1名の追加について、事務手続を進めるための意向確認があった。結果として、各評議員の意向を踏まえ、評議員追加の事務手続に関しては、対面またはWeb手段（Zoom等）を用いた開催とし、開催日は評議員のスケジュールを確認して設定することにした。

## 8. 配付資料

資料1 令和5年度事業報告書及び財務諸表等（案）

以上、評議員会の議事の経過及び結果を明確にするために、議事録を作成し、議長及び議事録署名人が次のとおり記名押印する。

令和6年6月25日

議長 杉浦 紳 一

評議員 藤井 靖 彦

評議員 松井 一 和

( 議事録作成者 : 公益財団法人 核物質管理センター  
総務部総務課長 遠藤 雅伸 )